



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立西岡北中学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

■朝読書の活用

毎朝、登校後の10分間、全校一斉に本を読む時間を設けています。

■図書局員によるポップ紹介やしおり作成

新着図書が入るたびに局員の手作りポップで紹介をしています。工夫をこらしたポップのおかげで貸出が伸びています。また、返却期限しおりは局員が一つ一つ手作りしています。



▲返却期限しおり

■企画展「本ができるまで」を開催



▲『虹色図書館』メイキング展

作家が書いた原稿が本になるまでの工程を紹介した企画展を開催しました。原稿やサイン入りの書籍など貴重な資料に触れる機会となりました。

学習センターとしての機能

■新入生「図書館オリエンテーション」

国語科の授業で、学校図書館の利用方法について学びました。学校司書から書架の分類などについて説明を受けた後、貸出も行いました。

■各教科への授業支援

各教科に必要な資料を提供するために寄託図書や相互貸借を利用しています。今年度は2年生の総合的な学習の時間で、職業の本を活用した授業が行われました。



■放課後に学習できる場所として開放

放課後開館のある日は、学習スペースとして開放しています。課題や定期テストのために利用する生徒が少しずつ増えています。

情報センターとしての機能

■新聞の設置やポスターの掲示

図書館入口前のスペースに、地方紙と中高生新聞をいつでも閲覧できるようにしています。

また、図書館前の掲示板には、情報活用に役立つポスターや記事を掲示しています。



■情報センターとしてのテーマ展示

部活動や旅行的行事など学校生活に関する図書の展示をしています。また、防災やヒグマ情報など、身近な時事問題に関連した図書を集めたテーマ展示も行っています。